

徳島県社協 第五次活動推進計画を策定

～共に支え合う未来を創る～

徳島県社会福祉協議会では、地域福祉の推進を図るため、これまでの四次にわたる活動推進計画を踏まえ、第五次活動推進計画（2017年～2019年度）を策定しました。

基本理念

徳島県民一人ひとりが、お互いに支え合いながら身近な地域で、その人らしく、安心して生き生きと暮らせる福祉社会の実現を目指す。



とくしま
福祉広報

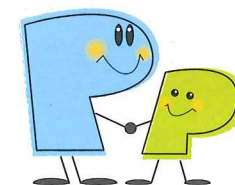
190号
June.2017

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/



ボランティア・
NPOの情報紙
39号 June.2017

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvv.jp



マスコットキャラクター プラザ

ひと39号 June.2017

CONTENTS

特集 障がい者スポーツ
徳島県ポッチャ協会・徳島ウイングス

ひと たった一本の幸せを大切に
藍工房&腹話術 「たった一本の幸せ」
代表 近藤 美佐子さん

シリーズ・このひとから
ボランティア活動の推進について
北島町社会福祉協議会
地域福祉係長 後藤 雅樹さん

ハートリレー
No.39 西前さんから北岡さんへ

New face
特定非営利活動法人 徳島ネパール友好協会
会長 谷口 安孝さん

基本方針1

県民の参画・協働による
地域福祉活動の推進



基本方針2

地域の福祉力を高めるための
マンパワーの確保・育成・定着



基本方針3

災害時の福祉広域支援
ネットワークの構築



基本方針4

組織の基盤強化と
社会的役割の実施



障がい者 スポーツ

「障がい者スポーツ」とは、身体障がいや知的障がい等、何らかの障がいを持つ方が行うスポーツのことです。既存のスポーツを障がいの特性に応じて修正したものが多く、パラスポーツ（もう一つのスポーツ）とも言います。また一方で、障がいのために考案された独自のスポーツもあります。



徳島県 ポッチャ協会

昨年9月に開催された、ブラジル・リオデジャネイロパラリンピックで、日本代表が見事、銀メダルを獲得した競技「ポッチャ」。その県協会が昨年8月に産声を上げましたが、今回はそのいきさつやねらいについてご紹介します。

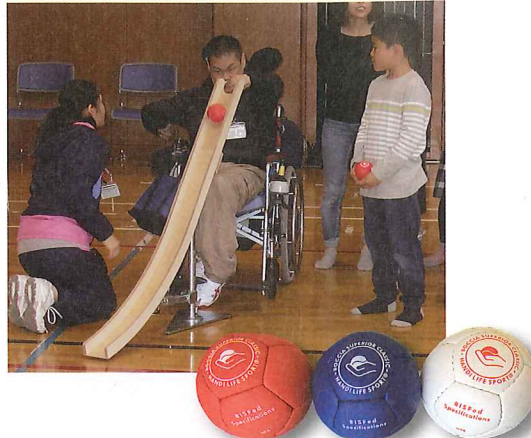
徳島 ウイングス

2015年に立ち上がった、県内初となる身体障がい者野球チーム「徳島ウイングス」。今春には、目指していた全国大会出場を果たしました。そんなメンバーのみなさんの活動に対する思いと活動の様子を紹介します。



徳島県ポッチャ協会 障がい者の社会参加と競技者の発掘・育成を!

「ポッチャ」は、重度障がい者のために考案された球技の一つで、目標球と呼ばれる白い球を目掛けて赤や青の球を投げ、目標球との距離の近さを競います。自力で投げられない重度障がい者は、傾斜がついた専用台を使い、玉を転がして参加することができます。なお、競技は、個人戦と団体戦があり、銀メダルに輝いた団体戦は、1チーム3人ずつの2チームが対戦する方式で行われます。ポッチャの競技人口は全国的に増えつつありますが、県内においては、認知度が非常に低く、普及活動は一昨年が始まったばかりです。そして昨年8月、県内の障がい者スポーツ指導員や理学・作業療法士、トレーナーら10人が、県協会を立ち上げました。今回は、役員・選手の方々の思いや今後の意気込みについてお話を伺いましたのでご紹介します。



県協会役員のうち、3人が在籍する吉野川市の病院にお邪魔しました。3人とも笑顔一杯で、優しく温かく迎えてくれました。まず、「ポッチャ」に関わるようになったいきまっつと活動内容についてお伺いしました。



広く県民に知っていただくことから始めよう! 事務局長 吉野 哲一さん

「日頃、患者さんのリハビリに関する仕事をしていますが、その中で障がい者の方と接する機会も多く、自宅と病院のみを行き来するだけの生活で、どうしても閉じこもりがちになっている状況をなんとかしたいと思ったのがきっかけです」。

早速、一般審判員の資格を取りに岡山市に行き、他の仲間とともに、昨年8月、県ポッチャ協会を設立しました。これまでの活動は、まず『ポッチャ』という競技を広く県民に知っていただくことから始めようと、県障がい者スポーツ協会と連携し、県内各地で講習会を精力的に開催したり、ルールを簡素化してレクリエーションの要素を取り入れた『ふれあいポッチャ』の体験会を実施して、競技人口を増やしていくよう努めています。



笑顔がたくさん!

ここまで活動してきて、うれしかったことは、今まで家の中でほとんど何もせずパソコンをさわるぐらいだった障がい者の方が、ポッチャに興味を持ち、一生懸命練習に取り組むことで、生活に張りができ笑顔がたくさん見られるようになったことです。

ただ、県内各地に普及に行ってみて感じたのは、参加される方が障がい者とその関係者のみで、一般への浸透がまだまだということです。講習会や競技大会を開催した際は、是非多くの県民のみさんにボランティアとして参加していただきたいと思います。



金メダルをもらえるような選手を育ててみたい!

2020年の東京パラリンピックに向け、金メダルをもらえるような選手を育ててみたいとの大きな夢もありますが、今は焦らず、地域に根ざすよう、こつこつ普及していきます。障がい者の方に『ポッチャ』というスポーツを楽しんでいただくことで、生き生きとした生活を送っていただけるよう全力で取り組んでいきたいと思っています。また、障がいの有無にかかわらず、ぜひ「ポッチャ」というスポーツに接していただきたいと思っています。特に若い人に興味を持ってほしいです。



3人の優しく温かい気持ちと、ポッチャに対する熱い情熱が、障がい者の方のスポーツ熱をさらに高め、多くの障がい者が社会参加する姿と将来パラリンピックの大舞台上で県出身選手が金メダルに輝く姿を想像しながら、帰路につきました。

徳島県ポッチャ協会
E-mail
tokushimaboccia@gmail.com

(取材・文：山下健一)

徳島ウイングス 力をあわせ めざせ日本一!!



前を向いて突き進む!

徳島ウイングス 代表 西上 勝さん

ずっと続けてきた車イスバスケットボールの練習にばたきと行かなくなった36歳の時、高知市で初の障がい者野球チームを発足したというニュースをテレビで知り、迷わず見学に行きました。すぐに練習に加えてもらい、その後も月1回高知に通っていました。当時、徳島にはチームがなかったので、徳島でもやってみようかといろいろな人の協力を得て、徳島ウイングスが立ち上がりました。

現在メンバーは15名。チームには、社会福祉士や福祉資格を持ったメンバーがいます。練習場所がなくて困っていると、みなと学園のグラウンドを使えるように繋げてくれる人がいたり、試合会場を探していると、熱心に動いて球場をおさえてくれる人がいたり。また、活動の様子が新聞に掲載されると、大学生からボランティアの問い合わせがあり、練習を手伝ってくれたり、健常者のチームと試合をすると、ボランティアに來たいと言ってくれたりします。南海病院チームと試合をさせてもらっていますが、南海病院の看護師さんも協力者のひとりです。協力してくれる人がいっぱいいて、そんな人がどんどん現れてきます。そんな中に、NARUTO総合型スポーツクラブの山本さんとの出会いがあります。山本さんは、チームのボランティアコーディネーターとしていろいろなチームとの試合を調整してくれたり、私たちが野球を続けられるようにサポートしてくれています。良い人たちと出会い、地元になんかいると心強く落ち着けます。現在の障がい者スポーツは環境が悪く、使えるグラウンドや環境整備ができていない場所もほとんどありません。そんな中でもやっていくしかない。道具なども、寄せ集めでどうにか形になってきていますが、今後もチームを維持していくことが課題です。今のムードを大切にしながら、若いメンバーを増やし、活動を定着させていきたいと思っています。サポートしてくれるたくさんの人に感謝しながら。

笑顔でつなぐ NARUTO 総合型スポーツクラブ クラブマネージャー 山本 恵美さん

『強豪チームと試合してみたい!!何度も相手チームの元へ通い無理だろうと思うことも、前に向かって突き進む』そんな熱意に動かされ何とか協力しようと思った。総合型クラブとして、いつかは障がい者スポーツにかかわっていきこうと思っていましたが、こんな形でぐっと入っていくとは思ってもなく、これから頑張っていこうというクラブの立ち上げ時期に出会い、同じ思い、同じベースでやってきました。

野球というスポーツを通して、チームのみんながひとつに前を向いている姿勢は素晴らしく、みんなが自然体でかかわって、一緒にやっているというその空気感がすごく居心地良く、私たちもかわりながら、いろいろと学ばせてもらっています。障がい者でもスポーツできるということがまだまだ知られていないと思うので、もっといろいろな人に知ってもらえるように、また、障がいがあってもスポーツを続けられる環境をつくるために、これからも頑張っておサポートしていかなければと思います。



メンバー募集!! みんな一緒に活動しませんか?

外野手として甲子園を目指していた高校時代。23歳で事故に遭ってしばらく野球から離れていましたが、徳島ウイングスの新聞記事を見て、再び野球をするようになりました。ブランクがあっても白球を追う姿はさすがです。3番バッター、主力メンバーの1人です。



江本 佳裕さん

センス抜群、ピッチャーとして大活躍の大野さんは徳島ウイングスのエース!! 大野さんの加入により、チームがぐっと引き締まりました。「コントロールはまだですが…」と話す大野さん。今後の大会では、上位進出をねらいます。



大野 静馬さん

チームきってのムードメーカー。「みんな無視してもひとり喋ってま〜す!」と笑う成見さん。休憩中はもちろん練習中もいつも声を出して、チームを明るく和やかな雰囲気してくれます。



成見 健さん

(取材・文：日下睦子)

徳島ウイングス事務局 代表 西上 勝
〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字大毛112-134
TEL: 090-4334-1198



たった一本の幸せを大切に

2010年3月に、近藤さん自らが書いた詩「たった一本の幸せ」からとったそうです。「辛い」という文字にたった一本足す事で幸せという文字になることから、そんな一本に私たちがなり、いろいろな人に少しでも笑ってもらいたいと「たった一本の幸せ」の活動を夫婦二人三脚で始め、たくさんの人を幸せにし、活動している近藤さんご夫婦。

腹話術で6体の人形とともに、いろいろな施設を訪問したり、また、誰もが気軽に歌える場所として歌声クラブ「アミュージング」を結成したり、藍工房でさまざまな作品づくりをしたり、個展に出展したりと、忙しい毎日ですが笑顔の絶えない日々を送っておられます。

ご主人が退職してすぐに3つの癌が見つかり、その苦しみを忘れる為に活動を始めました。そもそも退職後にボランティア活動をするのは、ご主人の夢だったそうです。「退職したら記念に何か一つ買ってやる」と言って買ってくれたのが腹話術の人形「タラちゃん」だったと恥ずかしそうに話してくださいました。腹話術の公演の演目には子ども向けには「ウサギとカメ」や「一寸法師」、

お年寄りには「まぶたの母」や「傾城阿波の鳴門」の一節を演じています。その他にも、美佐子さん自身の夢だった「藍工房」は2011年7月に活動を開始し、現在は個展に出展しています。さらに、幅広く芸術の分野でも、県内での日本現代工芸美術展2回入選、徳島県美術展3回受賞、コレゾ財団藍染め作家賞を受賞されている美佐子さん。「活動を通じて楽しい時や嬉しい時はどんなときですか?」と伺うと「笑っていただけたら私も幸せ。会場にいる人の笑い声が聞こえた時が一番幸せです」と満面の笑みで答えてくださいました。

今後の活動は「あまり無理しないで自分自身と主人の体に負担がかからないように、ゆっくりのんびりと一人でも多くの人に笑顔と幸せを与える活動をしたいと思っています」とおっしゃいました。この活動をしていて時には涙が出るほど笑ったり、大勢の人から感謝の手紙もたくさんいただいたりして、素晴らしい出会いと感動をたくさんの人からもらっていることが一番の宝物だそうです。(取材・文:山田 奈津:広岡 早紀子)

藍工房&腹話術 「たった一本の幸せ」

代表 近藤 美佐子さん

- 藍工房「たった一本の幸せ」
徳島市丈六町長尾72-9
TEL:088-635-7434 FAX:088-635-7435
- 自宅
〒771-2501 三好郡東みよし町昼間1158番地13
TEL・FAX:0883-79-3660

プラザはこんなサービスを提供しています。

- ◆ 会議室・研修室の貸し出し
(第1会議室…12名・第2会議室…18名、研修室…50名、
夜間のみ2室に分割 研修室1…18名・研修室2…24名)
※貸し出しは団体単位で3ヶ月先まで予約ができます。

【ご利用には団体登録
が必要です。】

- ◆ 作業室
印刷機・大型プリンター・紙折り機・裁断機・製本機・丁合機・ラミネーター

- ◆ 貸し出し機材

・無線ハンドマイク …… (3本)	・プロジェクター …… (2台)
・ピンマイク …… (2本)	・スクリーン (大1台・小1台)
・拡声器 …… (3本)	・アンプ …… (2台)
・OHC …… (1台)	
・ワンタッチタープテント (8張)	
・フロアマット …… (15枚)	
・布製ブロック …… (1セット)	
・スタッフジャンパー	



- ◆ インターネットでプラザ事業・県内の社会貢献活動に関するイベントや各種情報が検索できます。
- ◆ フリースポットサービスの提供

シリーズ・このひとから

ボランティア活動の推進について

北島町社会福祉協議会 地域福祉係長 後藤 雅樹

北島町ボランティア連絡協議会には13グループが加盟し、「高齢者施設訪問、環境美化活動、高齢者・障がい者・児童へのパソコン指導、パソコン点訳、絵本の点訳・児童への点訳指導、ひとり暮らし高齢者ふれあい会、音訳ボランティア、精神障がい者への支援活動」など、それぞれのグループの特色を活かした活動をしています。また北島町ボランティアふれあいまつり、北島町ボランティアフェスティバルなど北島町社会福祉協議会主催事業への参加・協力をいただいております。

地域におけるボランティア活動や、北島町社会福祉協議会の事業への参加・協力をいただきます。

ボランティアグループや個人ボランティアの活動を推進することによって地域福祉の向上を図っています。



平成28年度より個人ボランティアを養成するために、きたじま総合ボランティア養成講座(基礎講座・専門講座)を開催しています。北島町ボランティアセンターに登録していただき、



板野郡ボランティアふれあい研修会



北島町ボランティアふれあいまつり

イベントガイド

「なみっこタウン」を開催

子どもたちがいきいきと活動するまち「なみっこタウン」を開催します。

子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから活動を教わり、一緒にいきいきと活動することにより、活動の内容や重要性を学びます。ぜひ、遊びに来てください!!

● なみっこタウン

日時：平成29年7月23日(日) 9:40~14:40

場所：海部公民館

内容：NPO・ボランティア活動体験

(ステージ発表・製品販売等)

主催：認定NPO法人とくしま県民活動プラザ・
社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・
徳島市市民活力開発センター



NPO・ボランティアおためし体験事業 「ごみゼロ阿波踊り大作戦」ボランティアスタッフ募集!!

日時：平成29年8月12日(土)~15日(火)

①17:30~20:00 ②20:00~22:30
③17:30~22:30

場所：「三菱東京UFJ銀行前(徳島市元町2丁目16)」
※現地集合

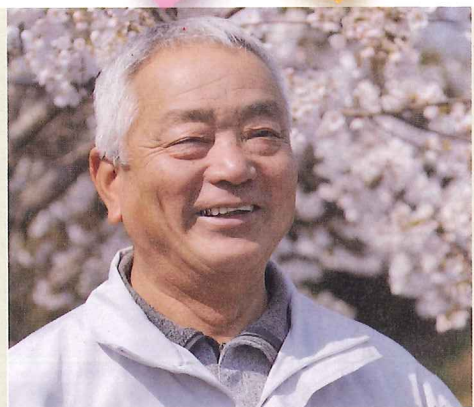
内容：ごみ分別ステーションを設置し、来場者にごみの分別回収を呼びかけます。ボランティア活動が初めての方でも心配ありません。ぜひ、ご参加ください。

お問い合わせ：

認定NPO法人 とくしま県民活動プラザ
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
TEL.088-664-8211
FAX.088-664-5345



No.39 西前さんから北岡さんへ



NPO法人 美馬体験交流の会
理事長 北岡 武義さん

できる人が、 できる時に、できる事を

美馬市美馬町重清地区は、自然豊かな環境に恵まれ、吉野川や阿讃山地はもとより、その自然と調和した「四国三郎の郷」などのキャンプ場があり、これらを活用して、子どもたちの健全育成と地域の活性化を図っているのがNPO法人美馬体験交流の会で、その中心となって活躍しているのが、理事長の北岡武義さんです。

活動の基本方針は、母なる川「吉野川」の水辺空間を活用して、将来地域を担っていく青少年を育成することです。

第一は、自然体験で、河川敷竹林の竹を利用して、竹細工・竹垣作りや竹炭の製造、また、水生生物調査、農業体験、カヌー体験を行っています。

第二は、都市地域間交流促進で、春にはタケノコ狩り、夏には水辺の楽校サマーフェスティバルを開催し、交流人口の増加を生んでいます。

第三は、指導者の育成で、吉野川の歴史講座や水辺空間の生態系調査などを通じて、リーダーとなる人材の育成に取り組んでいます。

これらの活動を行うベースとなる地域の自然を保護することから、水防竹林の再生や竹のリサイクル・リユースを20年に余って取り組んでおられる姿勢を、私は、常に敬意をもって見させていただき、活動の模範としています。

これからも、北岡武義さんを中心に、自然とのふれあいを礎に青少年の育成・地域の活性化が図られますよう期待しています。

文・西前清美



特定非営利活動法人 徳島ネパール友好協会

会長 谷口 やすたか
たにぐち 安孝さん

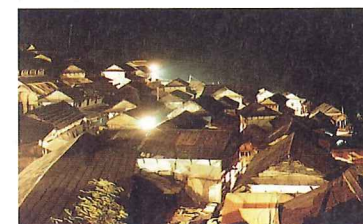
■ 設立について

当協会は、ネパールと交流のあった知人から、最貧国ネパール中部の最奥の地であるラムジュン郡ブジュン村に「電気の灯を贈ろう!」と水力発電所の計画要請を受けたことがきっかけで、県内の有志により1996年2月に設立しました。

私たちは、多くの企業や団体、個人からの寄付金や助成金を活用し、大学などの協力も得て、村人との強い協働の下、1999年12月に約80kw/hの小型水力発電所を完成させました。電気がついたことで、村人の生活も改善され、木の伐採も減り、自然保護にもつながりました。その後も、文化・スポーツなど様々な分野の相互交流や協力、親善を図ることを目的に活動し、2016年9月に特定非営利活動法人として新たに発足しました。



ネパールの人々と徳島市の小学生との交流



水力発電によりブジュン村に灯り

■ 現在の主な活動

①ネパール国民との友好促進事業

会員がカトマンズ、ブジュン村等を訪問したり、ネパールの少年少女をホームステイで徳島に受け入れたりして交流を図っています。

②山村振興を目的とした事業

農産物運搬用索道(ロープウェイ)を建設し、山村の生活向上に努めています。

③ネパール大震災救済復興支援

2015年4月に起きたネパール中部の大震災の救済復興支援に向けた募金活動や防災に活用するために中古の消防車・救急車を寄贈しています。また、被災した女性や子どもたちを支援する現地NGOへの援助も行っています。

■ これからのビジョン

人々の記憶に残る活動を続けていきたいと思っています。ブジュン村に灯りがついたら、路上にごみを捨てる人も減り、トイレも設置され、子どもが家でも勉強できるようになりました。さらに、熱源が電気となり空気もきれいになりました。今後は、山村振興のための人材育成、索道設置後の修繕や新たな設置ができる技術者の養成にも力を注ぎたいです。当協会は、若者の参加も募っています。様々なアイデアをどんどん提案していただき人と人との交流を大切にしながら今後も若い方たちと一緒に活動の幅を広げていきたいと思っています。(取材・文:菊本佳孝:向井重里紗)

特定非営利活動法人 徳島ネパール友好協会

設立年月日：2016年9月16日
住所：〒779-3211 名西郡石井町藍畑字西覚円718-5
TEL：088-675-0835 FAX：088-674-4168
MAIL：info@tokushima-nepal.jp
URL：http://www.tokushima-nepal.jp/

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人 徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLEANUP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
県民環境政策課内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2758
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間

開館時間：10:00~18:00

【研修室利用時間】

火曜日~土曜日：10:00~21:00

日・祝日：10:00~18:00

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

日頃、社会貢献活動にいそしんでおられる皆さん、本当にご苦労さまです。皆さまが活動される上で、少しでもお役に立てればと毎回、精魂込めて、「ひと」の作成に取り組んでおります。皆さんの地域社会を思う真摯な態度や温かくて熱い思いに触れる時、より一層支援業務を頑張らねばとの気持ちが職員各人にふつふつと湧き起こってきます。皆さんから「信頼されるプラザ」から「頼られるプラザ」へと進化すべく職員一同、日々精進して参りますので、どうか「笑顔溢れるほっとステーション・県民活動プラザ」へお越し下さい。(山下 健一)

地域生活支援と私



社会福祉法人 共生会
障がい者支援施設 すみれ園
生活支援員(新人・実習指導担当者)

田所 智史
たどころ さとし

私が現在働いている社会福祉法人共生会は、施設入所支援、生活介護、自立訓練(機能訓練)、短期入所、日中一時支援を提供する「障がい者支援施設すみれ園」、就労支援事業を行う「障がい者就労支援センターかがやき」、地域で暮らす方々の相談業務を行う「中央広域障がい者生活支援センターはくちょう」、そして新たに平成29年4月には、児童発達支援と放課後等デイサービスを一体的に行う「障がい児通所支援事業所きらら」が開所しました。同時に、平時には地域住民の方々や、かがやき・すみれ園のご利用者が気軽に利用できる喫茶店、多目的スペースとして、また、災害時には地域の皆様方を支援できる機能を備えた「きららカフェ」もオープンしました。

私は「障がい者支援施設すみれ園」で生活支援員として入所・通所ご利用者の支援をさせて頂いています。また、防災委員の一人として



して様々な活動に参加しています。各地で大規模災害が発生している現状において、「発災時に、いかにして命を守るか」を委員会で話し合っています。
平成28年7月には阿波市社会福祉協議会主催の「地域合同福祉避難所災害ボランティアセンター運営訓練」が開催されました。すみれ園は阿波市と災害時福祉避難所の協定を締結しており、いざという時には地域で暮らす障がい者のために福祉避難所としての機能を果たさなければなりません。

訓練の中で特に印象に残っているのが、限られた収容人数の中で避難者の受け入れ優先順位をつけていくスクリーニングの模擬体験でした。どのような障がいを持った、どのような被災状況にあるのか、どの方が一般避難所から福祉避難所への移動が必要なのかを見極めることは、混乱期をイメージすると非常に難しくなりましたが、貴重な体験をすることができました。また、地元の高中生や、地域の自治会・消防団の方など、たくさんの方が参加し地域の皆様と一層交流が深まる1日となりました。

私が社会人となり初めて就いた職は「福祉」とは違った職種でした。もちろん学生時代にも福祉に関する専門的な知識を学んだことなどありません。福祉職に就いた立派な背景などなく、ただただ周りに流されるまま辿り着いたという状況でした。福祉職に就いて10年が経ちました。その間には、ご



利用者や職員の皆と共に泣いたり笑ったり怒ったり、出会いがあり、別れもありました。何も分らないまま先輩の後ろ姿を追いかけたりばかりいた私も、今や後輩を育てる立場になり、いろいろな環境も変わりました。しかし、「その人は何に笑って何に怒っているのだろうか? いちばんの思いはなんだろうか? 何が必要だろうか? 今の自分ができることは何だろうか? できることを全力でしていこう」という支援者としての私の信念は今も昔も変わりません。これからもこの思いを胸に精進してまいります。

2017年4月より 介護福祉士資格 保有者を生涯支える

離職時の届出 制度スタート

登録すると、復職支援のための 求人紹介 技術研修 などのサポート

社会福祉法の改正により、2017年4月1日から介護福祉士資格をお持ちの方は、離職時に都道府県福祉人材センターに届出ることが努力義務となりました。また、努力義務ではありませんが、就業中でも介護福祉士資格をお持ちの方は届出ができます。さらに、介護職員初任者研修、介護職員実務者研修、旧ホームヘルパー養成研修1級・2級課程、旧介護職員基礎研修を修了された方もぜひ、ご登録ください。

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 徳島県福祉人材センター アイネット (TEL.088-625-2040)

預託

●公益財団法人徳島県文化振興財団 徳島県郷土文化会館様より、社会福祉施設へ「徳島邦楽ルネッサンス 第2章 現代を生きる邦楽」の無料ご招待●株式会社レディ薬局様、株式会社クラシエホールディングス様より、社会福祉施設等へ車いす5台のご寄贈●株式会社マルナカ徳島店様より、社会福祉協議会等へ日用品のご寄贈●太田ボタン店様より、社会福祉施設等へ手芸用生地とボタンのご寄贈●ドリームサーカス株式会社様より、社会福祉施設へドリームサーカス徳島公演の無料ご招待

寄付

●南海トラフ巨大地震から徳島県保育園児を守る会様●日本健康麻痺徳島会場リング様●徳島県商工会青年部連合会様●一般財団法人徳島県民間福祉施設職員共済会様●株式会社阿波銀行様●株式会社徳島銀行様●協業組合徳島印刷センター様●株式会社教育出版センター様●有限会社ライトスタッフ様●有限会社紙喜紙文具店様●株式会社ダイヤジム様●原公認会計士税理士事務所様●名鉄観光サービス株式会社徳島支店様●有限会社 KEN デザイン事務所様●篠原石油株式会社様●株式会社ふくなが様●株式会社アルファ・システムズ様●株式会社 JR 四国ホテルズ様

平成29年度 全国200万人 加入!!

ボランティア活動保険

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金額		年間保険料 (1名あたり)		
保険金の種類	プラン	タイプ	プラン	
ケガの補償	死亡保険金	Aプラン	Bプラン	
	後遺障害保険金	1,320万円	1,800万円	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
賠償責任	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)JNK16-16921 2017.2.3作成

卓越した価値を提供し、地域・お客さまと成長していく良き「パートナー」をめざします

地域密着 一等星銀行へ

阿波銀行
http://www.awabank.co.jp/

環境にやさしい銀行を目指し 環境保全活動に取り組んでいます。

徳島銀行
http://www.tokugin.jp



山川地区実行委員会



川島地区実行委員会

平成25年度に策定した吉野川市地域福祉活動計画に基づき、鴨島・川島・山川・美郷の各地区において、事業を実施しています。鴨島地区はラジオ体操やウォーキング大会を実施し、会が始まる前のラジオ体操は定着してきました。また、川島地区は通学の見守りや健康料理教室やウォーキング大会を開催しています。



鴨島地区実行委員会



美郷地区実行委員会

どの地区も、自分たちでできることをしようという意識が定着してきました。今後も、各地区の活動が継続して実施できるように、事業の推進、支援に取り組んでまいります。

「イザカエルキャラバン！」も引き続き開催し、子どもたちにもスタッフとして動いてもらいたいと考えています。今後も地域住民に寄り添い、全世代が福祉に参画するまちづくりを進めていきたいと考えます。



カエルキャラバン 防災プログラム



総合的学習の時間 ごみゼロの日

町内の高齢化率は47.98%、出羽島においては79.35%と、社会的孤立をはじめとする福祉課題の対応が喫緊の課題となっています。「誰かと話したくて出かけたが、体が思うように動かなくなった」「話を聴いてほしい」というニーズが増えました。今年2月、傾聴ボランティア活動を行う団体「ほのほの」が立ち上がりました。社協は事務局として、傾聴が必要な方と「ほのほの」をつなげる役割を担っています。きっかけは昨年6月に開催した傾聴ボランティア養成講座です。受講者からボランティアグループとして活動を展開していきたいとの提案がありました。活動は月1回程度、ご自宅へ訪問して実施しています。会話することに喜びを感じてもらい、地域や周りの人との関係づくりにつながっています。また今年度、牟岐中学校の総合的学習の時間に、社協がボランティア活動や福祉体験等についての授業を行うことになりました。さらに、子どもたちと一緒にいる配食サービスや、ふれあいサロン等での取り組みによる福祉教育も広がりを見せています。見守りの輪を広げるため、認知症についての学習や、昨年12月に実施した防災イベント「イザカエルキャラバン！」も引き続き開催し、子どもたちにもスタッフとして動いてもらいたいと考えています。今後も地域住民に寄り添い、全世代が福祉に参画するまちづくりを進めていきたいと考えます。

地域の方々が自らできることを推進しています

社協の実践

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

みんなが福祉に参画するまちに

徳島県社会福祉協議会 第五次活動推進計画

～共に支え合う未来を創る～

本計画は、第四次活動推進計画を踏まえた第五次活動推進計画として、地域住民や多様な機関が、それぞれの立場や世代を超えて共に支え合う地域づくりを目指して、県域の社会福祉協議会としての役割と活動方針を定めることを目的に作成しています。幅広い関係者が参画・協働する本会の特性を活かして、時代とともに変化する様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて、これからの3か年で取り組むべき事業を明確にし、地域福祉を推進するために、自らの存在意義と役割、方向性を常に確認しつつ、時代の要請に応えられる事業の展開に積極的に取り組んでまいります。

基本方針

1 県民の参画・協働による地域福祉活動の推進

すべての人が、年齢や状況を問わず、その人のニーズに応じた適切な支援が利用できる「地域づくり」を進めるために、地域住民多様な主体の参画・協働のもと、地域資源の共有や「総合相談・生活支援」の充実など、社会福祉協議会が地域のコーディネーターとして本来の役割を発揮することができるよう、包括的な支援体制へ向けた取り組みを推進します。

重点推進施策・主な取り組み

- ① 総合的な地域包括ケア推進体制への支援
 - ・「我が事・丸ごと」地域共生社会づくりの推進
 - ・「住民主体」の地域づくりの推進
 - ・生活困窮者自立支援事業の推進
 - ・成年後見制度と日常生活自立支援事業の推進
 - ・貸付制度と他制度の連携強化
- ② 市町村社会福祉協議会の推進する幅広い地域福祉活動への支援
 - ・地域福祉活動計画等の策定支援
 - ・多様な地域づくりの推進主体への支援
 - ・法人等との協働による地域協議会の設置に向けた支援

基本方針

3 災害時の福祉広域支援ネットワークの構築

災害発生時には、福祉支援を必要とする要援護者が増大する中、南海トラフ巨大地震等の発生が予想される本県においては、多様な機関がそれぞれの役割を理解し、連携して支援を提供します。平時から、地域福祉の推進と災害時の福祉広域支援の両輪を、県域や市町村域ごとの支援体制づくりに位置付けて進めます。

重点推進施策・主な取り組み

- ① 災害ボランティアセンターの効果的な設置・運営に向けた支援
 - ・県福祉救援合同本部や県災害ボランティアセンターの機能整備
 - ・市町村災害ボランティアセンターの効果的な設置・運営に向けた支援
- ② 広域の相互支援型BCMの策定推進
 - ・社会福祉法人における事業継続計画・マネジメント・ガイドラインに基づく圏域での研修・訓練の実施
 - ・地域に密着した要配慮者支援の推進
 - ・各圏域の模擬訓練等への協力及びネットワーク化の支援
 - ・民生委員・児童委員や各社会福祉施設間の横断的な連携による社会的機能・役割の発揮
- ③ 地域に密着した要配慮者支援の推進

基本方針

2 地域の福祉力を高めるためのマンパワーの確保・育成・定着

福祉サービスが必要とする人に、適切に質の高いサービスを提供する福祉専門職の人材確保・育成・定着を進めるとともに、暮らしの中の困りごとを抱えながら制度やサービスにたどり着いていない住民を総合的に支える地域社会の担い手づくりを推進します。

重点推進施策・主な取り組み

- ① 地域福祉を担う人材の養成と確保
 - ・次世代・団塊世代等ボランティア活動の推進
 - ・ボランティア活動を支える人材育成・ネットワーク構築
 - ・福祉人材の確保・育成・定着の推進
 - ・職場内研修等人材育成の仕組みづくりの支援
 - ・福祉人材バンクの運営・周知・啓発
 - ・福祉人材確保対策事業の推進及び周知・啓発
 - ・福祉サービスの質の向上に向けた支援
 - ・評価調査者の養成と育成
 - ・福祉サービス利用者や提供事業所への支援の強化
- ② 福祉人材の確保・育成・定着の推進
- ③ 福祉サービスの質の向上に向けた支援

基本方針

4 組織の基盤強化と社会的役割の実施

組織体制や財源の確保を図るとともに、法人組織として運営の透明性の向上を率先して進めます。また、県社協の機能を総合的に発揮して社会的期待に応えられるように、福祉に対する理解を拡げる情報収集・発信を強化するとともに、職員一人ひとりが地域福祉を推進する人材となるように職員育成の充実を図ります。

重点推進施策・主な取り組み

- ① 地域の生活課題解決に向けた県社協事業の推進
 - ・社会福祉法人向けアドバイザーの派遣
 - ・地域課題の解決に向けた社協間協議
- ② 組織基盤の強化
 - ・県社協の中・長期的ビジョンの管理・執行の推進
 - ・スーパードバイズ及びアドバイズ機能の強化
 - ・広報戦略の強化
- ③ 財務規律の強化
 - ・適正かつ公正な支出管理
 - ・地域社会へ還元する事業の創設